

DJI エグゼクティブ セミナー

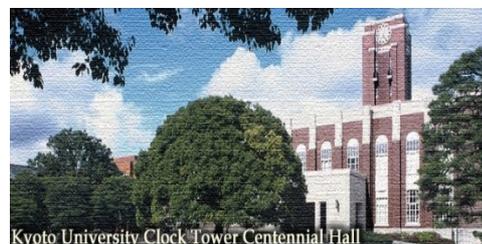
# UNHCR アーキビスト モンセラート カネラ ガラヨア氏 来日記念講演【通訳付】



## 難民のアーカイブ その存在と意義

～UNHCR 国連難民高等弁務官事務所のアーカイブと記録管理～

- 2017年04月25日(火曜日) 14:00～16:00
- 京都大学百周年時計台記念館  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学本部構内正門正面  
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/clocktower>
- 参加無料 先着 20名



主催:国際資料研究所 共催:海外アーカイブボランティアの会

連絡先:251-0045 藤沢市辻堂東海岸 3-8-24 fax0466315061 ✉ [djiarchiv@yahoo.co.jp](mailto:djiarchiv@yahoo.co.jp)

後援:記録管理学会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、日本アーカイブズ学会、  
京都大学大学文書館、大阪大学アーカイブズ、元興寺文化財研究所、(株)カネカ(以上依頼中)

# 難民のアーカイブ その存在と意義

## ～UNHCR 国連難民高等弁務官事務所のアーカイブと記録管理～

今「難民」は世界の関心時である。日本の現状はと言えば、難民申請1万件に対し認定は30件不足と、受け入れ態勢が十分であるとは言い難い。

国連難民高等弁務官事務所 UNHCR は難民支援のための国際組織である。緒方貞子氏が1990年代、10年間にわたり国連難民高等弁務官を務めたことは、日本でも知られている。しかし、その UNHCR にアーカイブ・記録管理課が置かれ、難民の記録が集中管理されていることは、必ずしも広く知られてはいない。

今回 UNHCR アーカイブ・記録管理課長であるモンセラート・カネラ・ガラヨア氏から、UNHCR におけるアーカイブ記録管理課の存在とその役割、UNHCR 所蔵アーカイブ資料の概要、2009 年以来資料整理にかかわる日本のアーカイブ・ボランティアの存在と意義等のお話を伺う。【通訳付】



スイス・ジュネーブのUNHCR本館

### 【講師紹介】

モンセラート・カネラ・ガラヨア氏

UNHCR 国連難民高等弁務官事務所記録管理・アーカイブ課長



バルセロナ大学記録管理学修士、中世歴史学士  
電子記録管理士

1989 年～カタロニア地方政府セルヴェラ歴史文書館長、バルセロナ文化部記録管理課長を歴任  
2000 年 UNHCR レコードマネージャー、国連システム最初の電子記録管理システム導入  
2008 年～UNHCR 記録管理・アーカイブ課長  
1992 年以降、ICA 国際文書館評議会では、ICA/SPA(専門家部会) 運営委員、ICA/SIO(国際機関アーキビスト部会) 事務局長等を歴任、活躍中。

↑ YouTube: 60 years of restarting lives - inside UNHCR's Geneva archive  
(60年にわたる再出発の記録たち ジュネーブ UNHCR のアーカイブ)

### 【参加お申込は…】

国際資料研究所 [djiarchiv@yahoo.co.jp](mailto:djiarchiv@yahoo.co.jp) まで、メールで

①お名前、(ふりがな) および ②ご所属(勤務先、所属学会等) をご送付ください。折り返し受付確認メールをお届けします。これが参加券です。当日ご持参ください。

(お申込みにより国際資料研究所が取得した個人情報、本DJIエグゼクティブセミナーに用います。また、今後国際資料研究所からのご案内に用いることがあります。ご了承ください。)